

2004

9月号



426

広報

かわち



<主な内容>

おじいさん、おばあさん、
いつまでもお元気で!...P2~3

「夏休み」こどもたちのおもいで!
...P4~5

みんなで考えよう!市町村合併!
「合併懇談会開催」...P6~10

ランチづくいに挑戦!

(写真:「かわちチャレンジスクール」より)

おじいさん、おばあさん、

いつまでも元気です！



(写真：『高齢者スポーツまつり』より)

『敬老の日』

長寿を祝う

今年、町内の70歳以上のお年寄りは、9月1日現在で2,147人(男823人、女1,324人)です。これは町人口の約18・6パーセントにあたる数字です。このうち、90歳以上の長寿者の方は110人になります。

町一番の最高齢者は、植武たけさん(庄布川)で、102歳を迎えられました。(明治35年7月28日生)続いて、山本一さん(手栗)が101歳を迎えられます。(明治37年1月12日生)長寿カップルは、石橋四郎さん98歳・なをさん95歳(平川)ご夫妻です。

また、沢田けんさん(中金江津)宮本虎雄さん(羽子騎)、青野ヨシさん(中金江津)の3名が100歳を迎えます。

これからも元気に長生きで！

～ 敬老福祉大会開催のお知らせ～

- ◆日 時◆ 10月17日(日) 午前10時開会
- ◆会場◆ 河内町立河内中学校体育館
- ◆招待者◆ 70歳以上で町内に在住の方
(昭和10年3月31日以前に生まれた方)
招待者には後日招待状を送付します。
- ◆大会の内容◆ (1)式典
(2)アトラクション



(写真：昨年の敬老福祉大会より)

多年にわたり社会に尽くしてきたお年寄りを敬愛し、長寿を祝う

長寿者一覧表

ここでは、90歳以上の方を紹介します。

(敬称略：平成16年9月1日現在)

百二歳
植武 たけ (庄布川)

百歳
山本 一 (手栗)

九十九歳
宮本 虎雄 (羽子騎)

青野 ヨシ (中金江津)

沢田 けん (中金江津)

九十八歳

小川よしを (宮淵)

小更 くら (愛宕町)

石橋 四郎 (平川)

九十七歳

佐野 正 (幸谷)

林田 清一 (北丸田)

藤崎 つる (下組)

鈴木 三郎 (中金江津)

大野 きぬ (平川)

九十六歳

有本 喜美 (藤蔵)

江口 次雄 (下金江津)

九十五歳

川村 とり (竜丁歩)

町田 とく (角崎町歩)

近藤 吉野 (庄布川)

市嶋 いわ (田川)

糸賀 ゆき (田川)

細谷 躰 (上金江津)

九十四歳

石山 佐造 (北河原)

前原 光義 (早井)

我蛭 達一 (大鍋)

小島 はつ (保村)

櫻井 公雄 (流作)

大原 よ志 (片巻)

石橋 なを (平川)

九十三歳

町田 ふゆ (宿)

越河 のぶ (浄玄)

宮野 トミ (早井)

鈴木 てう (砂場)

田中 たか (砂場)

雑賀 はな (中郷)

鴻野すみ江 (入谷)

雑賀 福志 (庄布川)

高橋シゲヨ (しらさぎ台)

高橋 くに (下金江津)

九十二歳

牧山ミサエ (宿)

大野 芳雄 (西)

石山 琴 (関場)

荒井 千彥 (浄玄)

大野 正一 (南丸田)

山田 静江 (四ツ家)

大野 ゑわ (新橋)

平川 和夫 (遠下)

宮本 正 (羽子騎)

鴻野 亀三 (入谷)

木村 よし (田川)

廣澤 たつ (田川)

関口 米 (上金江津)

長谷川やゑ (上金江津)

細谷 ミツ (上金江津)

青野 たま (中金江津)

江口 てる (下金江津)

速水 たい (下金江津)

九十一歳

鶴間 静 (宿)

秋山 保 (幸谷)

大槻武四郎 (北河原)

大槻 よし (北河原)

倉本 サト (北河原)

椎名 はる (北河原)

荒井 志け (浄玄)

久須見とく (浄玄)

荒井 きん (早井)

菅原キヨイ (早井)

関口 きよ (早井)

川村 武 (小林町歩)

宮本 てる (保村)

池田つぐ子 (高)

野中 はる (平三郎)

大谷 はま (羽子騎)

松本 文江 (古河林)

鴻巣 てい (中郷)

大原 しつ (片巻)

青野 勝 (中金江津)

青野 すゝ (中金江津)

青野 義雄 (中金江津)

江口 うめ (下金江津)

大野 きん (下金江津)

田仲 つる (十三間戸)

九十歳

大野 正夫 (宿)

坂本 よし (関場)

森川午太郎 (北河原)

長峰 こう (早井)

町田 あい (早井)

秋山 くに (砂場)

石橋 いひ (砂場)

茨城 トモ (北丸田)

川村 恒雄 (竜丁歩)

香取 志げ (堤)

吉原 武 (中曾根)

岡野 齊芳 (新橋)

鈴木 ふみ (新橋)

鈴木 はる (遠下)

織原 まつ (手栗)

坪井 せ (中上)

小倉 堅爾 (愛宕町)

手塚 のぶ (愛宕町)

増田 なつ (下組)

秋山 米 (庄布川)

福田 もん (田川)

酒井 きよ (流作)

内藤 夕子 (下加納)

中嶋しづか (下加納)

山田 政行 (下加納)

橋爪 ふみ (上金江津)

廣瀬 たみ (上金江津)

野塚 とく (下金江津)

萩本 忠夫 (下金江津)

●「河内元気っ子体験村」2004 夏

エアロキャンプ 8月2日～3日

千葉県芝山町:航空科学博物館にて

- 航空セミナー(搭乗体験)・機内食ディナー
- 夜の空港見学(滑走路・管制塔)
- 館内ラリークイズ大会・朝の1番機見学
- 模型製作教室・エンジン運転体験



▲搭乗体験
「さあ、いよいよテイクオフ！」



▲展望室で機内食ディナー
「いただきます〜！」



▲ラリークイズは館内を走り回って
答えさがし「あった！」



◀ぼくの飛行機
「ちゃんと飛ぶのかなあ〜？」

エアロキャンプに参加して…

- ◎友だちがいっぱいできた。
- ◎夜の空港の中をバスで走って間近にジャンボジェット機が見られたのが良かった。
- ◎機内食ディナーがおいしかった。

リバーキャンプ 8月5日～6日

藤代町:小貝川プロジェクト21にて

- 水辺安全教室・レスキュー訓練
- ボートで川下り・漂流体験
- バーベキュー・釣りの仕掛け作り教室
- 朝の1番釣り・乗馬教室



▲パドルの練習「1、2！1、2！」



▲川の真ん中、体
で流れを感じま
した。



▲ポニーの背中けっこう高かった！



▲お魚、ゲット！



リバーキャンプに参加して…

- ◎ボートでの川下りは疲れたけど楽しかった。
- ◎ライフジャケットを着て川でブカブカ浮かんだのが気持ちよかった。
- ◎乗馬もはじめはこわかったけど乗りなれたら楽しかった。

資料提供：河内町教育委員会生涯学習課

「夏休み」こどもたちのおもいで!

●「ふるさとふれあいスクール」開校 7月28日～29日

7月28日～29日の2日間、町内の小学5年生全員を対象に「ふるさとふれあいスクール」が開校しました。子どもたちは宿泊地となった『茨城県立さしま少年自然の家』での共同学習をとおし、元気いっぱいたくさんの友だちと、思い出づくりができました。



(写真:県立さしま少年自然の家にて)



▲出発の朝、河内町の5年生全員が中央公民館に集合。「ふるさとふれあいスクールの開校だ!」



▲みんなのたのしい班長さんです!
「2日間お世話になりました。」



▲ご飯の準備も自分たちでちゃんとできたよ!



▲みんなすっかり仲良しに!
「お風呂に入って裸の付き合い。」



▲ナイトハイク・クイズ
各班、みんなの力を合わせて
ポイントをゲット!



▲創作活動「キーホルダー作り」
みんなの思い出の作品ができました。

※本事業は、教育委員会生涯学習課と町内4小学校との共催で実施しました。

未来の子供たちのために！

みんなで考えよう！市町村合併！

～ 市町村合併懇談会開催 ～



『住民主体の市町村合併』を目指し、皆さんの意見や要望を伺うため、『市町村合併懇談会』が各地区4会場で開催されました。

各会場とも、参加者は非常に多く、まちの将来に向けて様々な意見や質疑がなされ、皆さんの市町村合併への関心が高いことがうかがえました。

この、懇談会でだされた皆さんからの貴重なご意見・ご要望等要旨を今月（金江津、長竿会場）来月（源清田、生板会場）号にわたってお知らせします。

◆問合せ先◆ **企画財政課 合併推進室** ☎84-2111 (内線 210・212)

合併懇談会 開催にあたり

市町村合併問題等を含めまして、これから河内町の行財政改革等についても皆さんにいろいろご意見を聞き進めてまいりたいと、かように思っているわけでございます。

合併というのは、これからの新しい時代の流れの中で、地方に分権、地方に権限を委譲する、その時に、合併をして適正規模で対応する。あくまでも合併はまちづくりの手段であります。現況よりも悪くなる合併はしてはなりません。そして何よりも大事なことは、そこに住む河内住民が安定して、安心して暮らせる将来の展望がなければならず、住民本位で合併をすべきであるというのが私達の基本であるし、それが民主主義政治の根幹ではなからうかという観点から、平成14年6月から河内町合併事務研究会を立ち上げまして、コンサルタントに調査委託をし、メリット、デメリットを精査をしまして皆さん方に正しい情報を公開いたしまして、皆さんのお宅に合併に関する資料をお届けして、検討していただいたうえでアンケート調査をさせていただきますました。その結果につ

いては、お手元の資料にもございませぬけれども、龍ヶ崎を中心とした利根・河内・龍ヶ崎、その中には新利根町も入っておりますが、これが68・5%と。そして、河内・江戸崎・新利根・桜川・東、これが16・9%という結果を得たわけで、町それから議会も直ちに龍ヶ崎市に合併の申し入れをし、河内議会も合併の申し入れをしたわけでございます。龍ヶ崎市では河内よりも少し調査検討が遅く、結果的には利根・龍ヶ崎・牛久が多かつたということで、いろいろと協議をしていた中で、龍ヶ崎市長の方針が、都市計画区域を同じくするところと一緒にしたいということでありました。その後、河内・利根町そして龍ヶ崎市の3市町同時住民発議が行われ、各議会上程されましたが、残念ながら河内の議会では、原案を否決されて、利根町は可決をし、龍ヶ崎市は否決をし、3市町同時住民発議は成立いたしませんでした。その後、住民から稲敷合併推進ということで署名をなされ議事に請願を出されたという経過もあります。河内町も東西に長く地域によっては一人一人の思いがあると思います。

県で市町村長の自治研究会があり講演の中で、全国で3300ある市町村の合併も2000以上は残るで

あろうと。大事なことは、合併によって日本の国の緑が失われるような合併は避けるべきではなからうか。今後平成17年までの特例法は終わりますけれども、新たな5年時限立法の新たな法が施行されます。一番大事なことは、各市町村がどれだけ行革を行って、どれだけ将来に向けて身が軽くなるような体制づくりができるかというようなことを話されました。今、町では、いろいろな情報が氾濫しています。町も正しい情報を広報、ホームページ等で適時流しておりますが、町の情報を疑っているというような声も聞かれますが、町は正しい情報を皆さんに流し、皆さんと一体となって、これからの新しいまちづくりに取り組んでまいりたい。それには、今、少子高齢化が進んでおり、老人人口が増えますと税収の落ち込みもあり、高齢化率が高くなるほど負担が増えていくわけで、住宅の開発等も視野に、若返りのできるような市町村との合併、あるいは、将来に人口増が出てくるような合併、そういったものを鑑みながら推進をしていきたい。皆さんが龍ヶ崎地域との合併に70%近い答えの中では、将来の展望は人口も増える、規模も大きくなることだと思えます。私達もそれに向かって一生懸命努力いたしましたが、18年の3月31日までの合併

には稲敷も間に合いませんし、龍ヶ崎も無理であります。今後は行革を推進し、どこの自治体からも、河内町と合併をしたいと理解をされて合弁できるような体制づくりをしていきたい。そういうことで皆さんのいろいろな意見を聞きながら、今回、金江津、長竿、源清田、生板といろいろな皆さんと懇談をしながら、また、合併推進懇談会でも検討をいただき、今後の方向性、新しいまちづくりを。そして、今後は行政改革を進めていかなければならない時代になってきます。少子高齢化時代、昨年は河内町全体で52人しか生まれておりません。そういう状況下でありますので、皆さんからご意見を聞いて対応してまいりたいということで懇談会を開催いたしました。大変お忙しいところ、夜分にもかかわらずたくさんお集まりをいただきまして本当にありがとうございます。

※合併懇談会4会場での挨拶要旨

河内町長
野高貴雄

金江津地区懇談会

日時 8月19日(木)

会場 つつみ会館

参加者 75名

Q、もう合併はできないという前提なのか？

A、〈町長〉 合併をやめてしまおうということではありません。周辺市町村の状況から現時点での合併は無理だということ把握していただき、将来的にも龍ヶ崎中心と稲敷中心という選択肢があり、次のチャンスを見込める視野に入れながら町としての意思表示ができるタイミングにより良いところと合併すべき。

Q、単独で行政改革を行った場合に、年数的にどれほどの期待が持てるのか？

A、〈町長〉 河内町は建築物を抑制してきたので借金の比率も低い。永くもたせるために抜本的改革を行う。
A、〈総務課長〉 経費の中で大きなウエイトを占める人件費については勸奨退職制度も視野に入れて検討している。機構については現在の17課を7ないし8課程度に再編するような検討を行っている。

Q、議会も町も方向性を出せないとすれば、住民の意見を問い、住民が決める方法もあるが、そのようなことを考えたことがあるか？稲敷合併推進の請願をどのように活かしてどのような答えを出すのか？

A、〈町長〉 アンケートで龍ヶ崎中心の合併という声が多数あったので、方向性を出し、龍ヶ崎市に申し入れも行い、その後、様々な経過を経て現在に至った。東西に20キロもある町であり、稲敷を望む方がいるのも事実であるが、民主主義の原則に沿って執り行ってきた。



Q、河内町の方で先に〈住民発議を〉否決してしまったがどうということなのか？

A、〈町長〉 不自然であろうと思っ
ている。町民の7割近くが龍ヶ崎を
望み、いろいろお願いもして、それ
に向けて努力をしてきたが否決して
しまった。

Q、成田空港という大きな変革があり、京成圏の時代が来ることは明白であると思っ
ている。龍ヶ崎は河内
が背中を向けたらどうなるのか、私
が龍ヶ崎市長なら河内に手を差し伸
べて成田の方を向く。成田の発展に
は30年程度で目覚しいものがあり、
50年、100年先の将来を見据えた
場合、必ずここに京成圏が発生する。

Q、アンケートの後に署名運動が2
件行われており、稲敷合併、龍ヶ崎
合併こちゃこちゃになっている。こ
の状態ではアンケート結果を主張して
いることは民主主義ではないのでは
ないか？このような状態になったの
であれば、住民投票を行ってはどう
か？また、住民投票を行う場合は、
選挙人名簿に基づいて行うか、若し
くは、小学生以上や中学生程度まで
下げるか、そこまで考えてほしい。

行政改革について、平成17年に合併
することを掲げていながら、平成17
年から行政改革を始めるといのは
何事か？行政改革の後の合併ではな
いのか？こみ処理施設などは、現在
龍ヶ崎市と組んでいるということだ

あるが、これらは市町村合併とは関
係ないのではないか？

A、〈町長〉 村政を引き継いでから
これまでも行政改革も機構改革も
行ってきた。厳しい時代において更
に行わなければならない。住民投票
で決めるというご意見についても検
討させていただく。

Q、アンケート結果として、龍ヶ崎・
新利根・利根・河内で68・5%と出
ており、新利根が稲敷の方へ行った
ので、龍ヶ崎・利根・河内で合併協
議会を作ろうと議会上で提出された。
これを否決したのは河内の議員であ
り住民の意志を無視している。

Q、龍ヶ崎市からは昨年の12月にお
断りがきている。その後に住民発議
が行われているが、河内町議会が可
決していたとしたら、龍ヶ崎市では
必ず河内を取り入れてくれたのか？
A、〈町長〉 可能性は十分にあった
のではない。まちづくりの方向性
が同じ牛久・利根の枠組みで取り組
むというのは市長の方針である。

Q、当面は単独で行かざるを得ない
のは分かるが、先が見えない不安を
感じる。誰が責任を持って町を支え
ていくのか？

A、〈町長〉 行政は継続していくの
で大丈夫である。

Q、一般町民には町の情報が伝わりにくい。住民の認識も足りないかもしれないが、情報が少なすぎたのではないか？町民に分かりやすい情報提供をお願いしたい。

A、〈町長〉広報において継続して情報提供してきた。今後より多くの情報を提供するので広報をできるだけ読んでいただきたい。

Q、少子化に歯止めをかける方策は？

A、〈町長〉ここ3、4年は本当に日本が終わってしまうのではないかと実感する。河内全体で一学年450から500人近くいた年代があったが、今はその1割程度になってしまった。中山間部においてはさらに深刻な問題である。首都から50キロ圏にもかかわらず河内が旧態依然なのは、交通網が良くないのが大きな要因であろう。生活基盤整備の面では宅地を開発するなど、農業村でありながら子育てもできる環境を整え、若者が来てくれるような方向も検討していく。

Q、稲敷郡1町は寂しい。私は稲敷を希望している。町はイベントを毎年派手にやっている。数年に1度開催するということでもよいのではなか？

A、〈町長〉近隣町村と比較すると

イベントの予算は一番少ない。町の活性化ということから、出店を募って各個人を集めてお店を出してもらうという形態もとっている。厳しい予算の中で知恵を絞って行っている。また、実施したほうが良いという意見も多数である。むしろ大変喜ばれている。

Q、行財政改革を行わなければならないほど河内町の財政は厳しいのか？

A、〈企画財政課長〉全国的に厳しい状況である。河内町の場合、地方税収が少なく交付税の占める部分が多い。三位一体改革において、億単位で減ってきている交付税に見合った税源移譲などの部分が不明確である。今まで国からきていたものがないとなれば当然改革が必要となる。

Q、来年の3月には行政改革の原案ができるということですね？

A、〈町長〉そういうことです。

Q、特別職の報酬は何%下げたのか？

A、〈町長〉私（町長）が15%で収入役と教育長が5%。

Q、行政改革であるので来年はもっと下げるのか？高い給料取りが自発的に辞めるのが行政改革ではないか？

A、〈町長〉そのような行政改革は

ない。

Q、行政は下意上達、司法は上意下達であり、住民の欲するところを達成するのが行政の義務である。アンケートの時点において町長が龍ヶ崎との合併を方向付けたことは間違いではないと思う。東西に長い河内町では住民の意識も違うが、根本は下意上達ということでも今後も良い方向に向けていっていただきたい。

Q、稲敷合併推進に関する請願は、受理して採択されただけなのか？今後どのように展開されるのか？

A、〈町長〉議会での採択のみである。議会でいろいろ検討されている。A、〈議会議長（長谷川重男氏）〉請願は採択をいたしました。その後、議会全員協議会で2回ほど協議した結果、稲敷4町村議会に採択をした旨報告をする。

Q、議会で採択されただけではダメなのか？

A、〈町長〉議会で採択された請願が町の機関に送付された場合は、町の行政の中で解決すべき事として受けとめられるが、今回は他の町村に及ぶものなので、採択の後の取り扱いには難しいであろう。

長竿地区懇談会

日時 8月20日(金)
会場 中央公民館
参加者 61名



Q、合併特例法期限内には合併できないということであるが、この先の動向についてはこのままということなのか？また、新法の期限までの合併については？

A、〈町長〉稲敷は来年3月には新市が誕生するということで、この段階で河内が入るのは無理である。龍ヶ崎も利根と協議中であるので、次の段階に向けて前向きに検討しながら取り組む。今後の方向性については、今より良くなる合併に向けて皆

さんの意見を聴きながら検討していきたい。

Q、行政改革の中で使用料・手数料の見直しがあるが、料金を下げるということはあり得ないのか？

A、〈町長〉抜本的に見直す。必要のないものはやめる。

A、〈総務課長補佐〉何年も見直されていらないものの定期的な見直しや、近隣市町村の状況も見ながら適正な金額を検討していく。

Q、行政改革などを専門的に扱う機関があるが、そういうところに頼んだほうがより厳しくできるのではないか？

A、〈町長〉自らの手で行うことにも意味があるので、課長級で組織を進めている。

A、〈総務課長補佐〉資料はあくまで参考であり、例えば見直しが考えられるものにはこういうものが挙げられるという資料である。

Q、学校や幼稚園、保育所の統廃合もなかなかできないのではないか？

A、〈町長〉できるところから行う。

Q、稲敷の合併において、新市の名称のアンケートを行った結果、「江戸崎市」というのが多かったにもか

かわらず、いつの間にか「稲敷市」になつていた気がする。そもそも「稲敷郡」というのは龍ヶ崎の八代の「稲敷郷」からきているので、新市名称としては矛盾しているように思う。合併のデメリットとして、免許証の更新は、現在、竜ヶ崎警察署だが、稲敷と合併した場合は江戸崎警察署となり、河内町民の多くは距離が遠くなってしまう。また、登記申請などにおいては、当該市で証明等の手続をしてから竜ヶ崎法務局へ行くこととなり手間がかかる。また、行政サービスの料金においても、龍ヶ崎と稲敷を比較すると人口の年齢差、若さに違いがあるので、そのような比較を行ってもよいのではないか。

Q、学校統廃合にしても、住民としては児童数などの程度なのか分らない。その状況を公開するのは行政の義務であり、住民が状況を認識し、たうえて議論が始まる。

A、〈町長〉広報等で人数をお知らせしており、例年の地域懇談会でも学校統廃合を考えてほしい旨の意見が出されている。

Q、行政改革推進本部を設置しても、これまでの行政体制において何も行っていないのに、同じ体制での行政改革は無理ではないか？専門を入れて



進めてはどうか？合併についても、やるのかやらないのか、いつになったらやるのか、はっきり示されてから考えるべきではないか？

A、〈町長〉行政改革も行ってきており、職員も減らしてきている。合併は町民の意向に沿って行いたい。町の中学生から手紙や電話もいただき、将来があるところと合併したいということであった。しかし、今の状況では、明日、あさつてというわけにもいかない。今後は相手から選ばれるようなまちづくりをしていかなければならない。

Q、行政改革というとのんびり構えていることもできないと思うが、10名の委員で早急にやっていたいけるのか？

A、〈町長〉人数は10名程度ということで増やすことも考えられる。

Q、仮に稲敷に合併したとすると、ごみ処理などの事務組合に対する精算はどうなるのか？

A、〈企画財政課長〉協議も必要になるが、地方債を借りて新しい処理場を建設し、費用を負担しているの、その分は精算しなければならぬ。

Q、広報にも書いてあったが河内町は単独でいくのか？また、その後は吸収（編入）合併なのか？

A、〈町長〉合併したいということを取り組んできたが、さまざまな経緯を経て今の段階ではいずれの枠組みにも入れない状況である。ある期間は単独でいさざるを得ない。その後の合併では対等（新設）合併は難しいであろう。住民発議の結果、合併協議ができたのであれば対等（新設）合併の方向もあった。

Q、今、隣に座っている方も、ぜひとも町長の任期中に龍ヶ崎と合併できることを願っているそうです。

A、〈町長〉合併に向けては最大限の努力をするが、皆さんの総意で行いたい。いろいろな意見があり、それらを尊重して行っていく。



オートバイのリサイクル

2004年10月1日よりスタート!

乗らなくなったオートバイ、
ボクはリサイクルするよ!
皆さんも協力してくださいねッ。

Q 新しいオートバイのリサイクルシステムって、どんな仕組みなの?

A ユーザー、メーカーやインポーター、そして販売店が一体となったリサイクルシステムです。

廃棄二輪車の回収・適性処理、リサイクルによる廃棄物の減量と資源の有効活用を目指して、オートバイの国内のメーカー4社とインポーターが中心となって自主的に取組んでいくのがこの新しい「二輪車リサイクルシステム」です。廃棄にあたっては、お持ちの二輪車に応じて設定されたリサイクルに関わる諸費用をお支払いいただきます。廃棄二輪車取扱店や指定引取り窓口を通じて引取られた廃棄二輪車は、メーカー、インポーターが責任をもって適正なりサイクルを行います。

Q オートバイを廃棄処分したい場合は、どうすればいいの?

A このステッカーが掲示されている「廃棄二輪車取扱店」または全国の「指定引取り窓口」までお持ちください。

廃棄二輪車をお持込の際は、収集・運搬料金と各メーカー、インポーターが公表するリサイクル料金のご負担が必要となります。収集・運搬料金は廃棄二輪車取扱店に直接お支払いください。

リサイクル料金は、廃棄二輪車取扱店または指定引取り窓口それぞれ備え付の専用払込票で郵便局にてお支払いください。

「廃棄二輪車取扱店」「指定引取り窓口」の所在地など詳しくはこちらまでお問合せください。

二輪車リサイクルコールセンター 受付時間 9:30~17:00
☎ 03-3598-8075 (土・日・祝日を除く)



※廃棄時には、登録ナンバー返却など法律上の手続きが別途必要となります。

Q どんなオートバイが、このシステムの引取対象になるの?

A 本システムに参画するメーカー、インポーターのオートバイ、原付自転車対象となります。



※サイドカー(側車)、ATV(バギー車)、電動キックボード、ミニカーは引取対象外車両となります。



※10月以降販売時により二輪車リサイクルマークが添付されます。このマークのある車両は、廃棄時にリサイクル料金の負担がありません。

◆問合せ先◆ 都市計画課 環境衛生係 ☎84-2111(内線155・156)

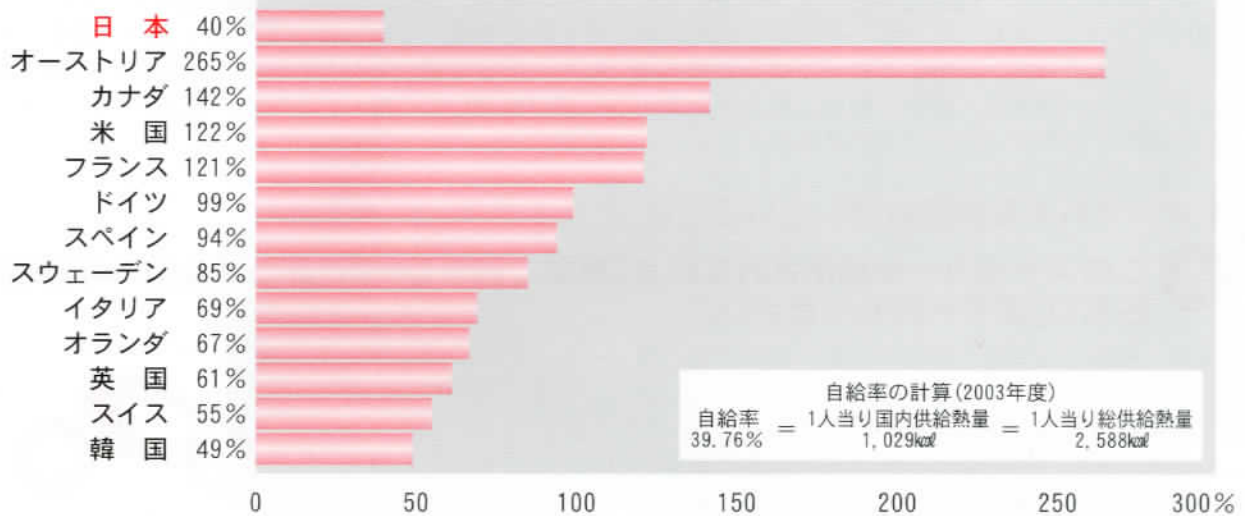
農業者支援センターだより

～日本の食料自給率～

日本は、6年連続40%・先進国中、最低の水準は変わらず
自給率の伸び悩みは、自給可能な米の消費量が年々落ちていることが主因
日本人の米飯の食べる量、一人一日茶碗2.2杯

農水省は、2003年度の食料自給率が供給熱量（カロリー）ベースで6年連続の40%と発表。ただ、細かく計算すると39.8%と40%を割り込み、国内供給熱量も過去最低となるなど、自給率向上への気配は見えない。先進国中、最低水準は変わらず、「2010年度に45%引き上げる」との目標達成は容易でない。自給率の伸び悩みは、自給可能な米の消費量が年々落ちていることが主因だが、粗飼料の国内供給量が減ったことも影響した。これからの政策のてこ入れが不可欠となっています。

主な先進国の食糧自給率



米の食べる量は、一合を炊いた場合茶碗2杯で計算してあります。もっともってご飯を食べましょう。

◆問合せ先◆ 河内町農業者支援センター ☎84-2111(内線144)

8月

町長の動き

- 2日(月) 庁議、茨城農業改革推進大会
- 4日(水) 稲敷郡老人発表会、平和の火リレーあいさつ、成田国際空港来庁
- 5日(木) 建設業者表彰式、水道運審
- 6日(金) 市町村総合事務組合議会定例会
- 9日(月) 新利根川沿岸基幹水利委員会総会、敬老福祉大会実行委員会
- 10日(火) 牛久沼運協、塵芥管理者会議、塵芥組合臨時議会
- 12日(木) 県農水部次長来庁、総合事務所環境保全課来庁
- 17日(火) 民生委員推薦会、市町村長自治研究会
- 19日(木) 土木事務所長との打ち合わせ、市町村合併懇談会(金江津)
- 20日(金) 稲北支部医療福祉協議会事務担当者会議、ふるさとかわち取締役会、市町村合併懇談会(長竿)
- 23日(月) ヤクルト贈呈式、市町村合併懇談会(源清田)
- 24日(火) 市町村合併懇談会(生板)
- 25日(水) 県戦没者追悼式
- 26日(木) 県南総合事務所次長来庁、町騒音対策協議会
- 27日(金) 郡町村会研修
- 30日(月) 市町村事務組合議員視察

(1日)
(28日)



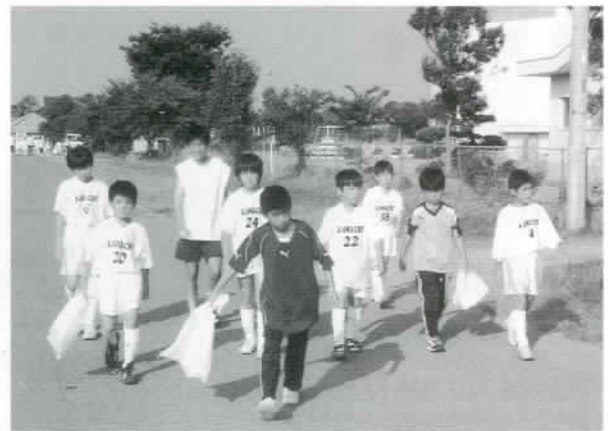
きれいな水を取り戻せ!

～霞ヶ浦湖上実践セミナー開催～

私たちの生活に無くてはならない水を与えてくれている『霞ヶ浦』。この『霞ヶ浦』を実際に湖上から観察し、その水質等の現状を知ろうと、8月21日、町内の小学生（3年生以上）12名が『霞ヶ浦湖上実践セミナー』に参加しました。

『霞ヶ浦湖上実践セミナー』では、土浦港から出航している「ホワイトアイリス号」に乗船し、霞ヶ浦問題協議会事務局の方をはじめ、(社)霞ヶ浦市民協会の方からきれいな霞ヶ浦を取り戻すために霞ヶ浦流域にある市町村が取組んでいるさまざまな水質浄化対策事業や、霞ヶ浦の歴史や水質の現状についてお話を伺いました。

また、霞ヶ浦の透明度を測ったり、水を船上に汲み上げ、簡単な水質検査を実際に行うことで、ふだん飲んでいる霞ヶ浦の水が想像以上に汚れていることに驚きを隠せない様子でした。参加した子どもたちは、「30年前は泳げるほどきれいだとは思わなかった。」「一人一人がきれいになるよう考えて行動し、協力する。」「霞ヶ浦にゴミをすてない。」など霞ヶ浦をきれいにするために出来ることや、霞ヶ浦に関するいろいろなことをアンケートにまとめ、あらためて霞ヶ浦との関わりを深く感じ取ることが出来ました。



地域に奉仕活動

～サッカースポーツ少年団～

7月25日、河内町サッカースポーツ少年団では、自分たちが生活している地域社会への奉仕活動を通して、スポーツマン精神を養おうと、つづみ会館及び金江津中学校周辺の道路脇や側溝などに捨てられている空き缶やペットボトルなどを拾い集めました。

★河内町サッカースポーツ少年団では一緒にプレーする仲間を募集しています。TEL 84-4190（坂本）

全国を制し世界へ!

～全国小・中学生空手道大会～

8月7日・8日、第47回小・中学生全国空手道選手権大会が宮城県総合体育館で開催されました。

この大会で、県代表に選ばれた河内町の子どもたちが大いに活躍しました。なかでも、中学2年生男子組手の部に出場した石山健太君が見事に優勝。9月に開催される「第9回松濤杯争奪少年世界空手道選手権大会」に出場することになりました。世界選手権での活躍が期待されます。

町民の快適な健康づくりの推進を目指して

保健センターだより

～『インフルエンザ予防接種』のお知らせ～

昨年に引き続き、今年度もインフルエンザ予防接種の助成を下記のとおり実施いたしますので、ご希望の方は実施期間内に接種して下さるようお勧めします。

●インフルエンザ予防接種

1. 指定医療機関

指定医療機関	医療機関	住所	電話番号
	竹尾医院	河内町金江津4747	86-2436
	いしかわクリニック	龍ヶ崎市大徳町5353-1	62-0378
	すずきクリニック	新利根町角崎1655-1	87-5253

竹尾医院、石川クリニック、すずきクリニックには、予診票が置いてありますので、直接病院で受けてください。

2. その他の医療機関

河内町で発行する書類が必要です。書類は保健センター、役場、つつみ会館、福祉センターの窓口にあります。また、千葉県の一部の医療機関でも助成による接種ができます。実施できない医療機関もありますので、保健センターにお問い合わせください。

3. 対象者 ・65歳の誕生日以後の希望者
・60歳以上65歳未満の方で心臓や腎臓、呼吸器に重い病気のある方で接種を希望する方

4. 実施期間 平成16年10月20日～平成16年12月28日まで

5. 助成金 2,000円 (差額は個人負担となります。助成は1回目のみです。)

6. 実施方法 医療機関に連絡して予約を取り、体調の良いときに受けてください。

稲敷地域小児救急輪番制当番医

曜日	時間	医療機関
月～水	18:00～21:00	牛久愛和総合病院(029-873-3111)
木	18:00～21:00	龍ヶ崎済生会病院(0297-63-7111)
金	18:00～21:00	つくばセントラル病院(029-872-1771)
土	9:00～16:00	つくばセントラル病院
	18:00～翌朝 9:00	東京医科大学霞ヶ浦病院(029-887-1161)
日	9:00～12:00	つくばセントラル病院
	12:00～15:00	龍ヶ崎済生会病院
	18:00～翌朝 9:00	東京医科大学霞ヶ浦病院
祝日・年末年始	9:00～翌朝 9:00	東京医科大学霞ヶ浦病院

※救急外来は応急処置が基本のため、処方原則1日分です。なるべく昼間の診療時間に受診してください。

※上記以外にも休日・夜間の診察を行っている医療機関があります。かかりつけ医等の状況を予め把握しておきましょう。

◆問合せ先◆ 保健センター ☎84-4486 又は 84-3682



大塚 由衣ちゃん
看護師



高山はるなちゃん
セーラームーン



佐藤 孔兵くん
学校の先生



牧山 優亮くん
サッカー選手



秋山大五郎くん
段ボール工作が上手な人



柳葉 大貴くん
サッカー選手



藤間 大輔くん
おまわりさん



田沼 柚衣ちゃん
おもちゃやさん



石川 綾香ちゃん
お花やさん



俳句

かわち俳句会

炎天や龍馬毅然と目語せり

寺田 節子

節瘤に脂の噴き出す大暑かな

田中 康夫

秋立てり砂のさざなみ御宿へ

吉田 四郎

生かされて三途の川の真菰刈る

若泉 栄治

ちぎれ雲私の色の水中花

大野 志げ子

会釈して乙女となりぬダリア黄に

橋爪 かん

絵日記にはみ出す孫の大火火

大関 さと

炎天や蔭引き連れてへりコプター

大塚 一重

朝曇り一番列車過ぐるらし

飯島 ヨシノ

ダリア咲く児の身の丈のまた伸びて

田沼 和子

寝たきりの窓開けてやる遠火花

川口 ふく

法華経に虫の声添ふ今宵かな

杉原 利代

みんなの捕らえられたる声となり

津根 としお

炎天下言葉少なに別れけり

鴻野 たけ

竜田姫向かふ畦道蝗飛ぶ

石塚 たかよし

カーテンのゆるる窓辺の水中花

兼丸 ミドリ

二本目の釘も曲がりし炎暑かな

飯塚 まさよし

短歌

かわち短歌会

小さき沼水面を彩る睡蓮の花は恥じらふ如く葉陰に

(生板)

ひたすらに審美求めてゴッホ描く大輪の向日葵吾が庭に咲く

出征の吾を見送る母の小さき姿をついに見出でざりけり

上を向いて七十路の日々を生きたかり庭の百日紅真っ盛りなり

梅雨明け積りし家事をこなし終へ猛暑の午後の風の涼しき

夕風の出でし田んぼに追肥振る畦道際は妻にまかせて

夕風きて花火弾ける庭先の緑児の眼に光り宿りぬ

ナスのトゲ寄らば刺すぞと身構えて朝日を受けてサファイアのごと

山田 マサエ

山口 かげ郎

久松 浩洋

庄司 登千子

郡 玉翠

青野 清一

我蛭 ただいち

石山 ときえ
青木 保



生活

飼い犬・飼いねこの引取りが有料になります

犬・ねこなどの動物を、やむを得ず飼えなくなった場合には、自らの責任において新たな飼い主を探すようにしてください。

どうしても飼い主が見つからない場合には、県が引取ります。

◆実施年月日

平成16年10月1日

◆引取手数料

生後91日以上の子犬・ねこ
一頭／2・000円
生後91日未満の子犬・ねこ
一頭／400円

◆引取方法

あらかじめ県動物指導セン

ターにお問合せの上、確認ください。

◆手数料納入方法

引取り時に現金で納入してください。

◆問合せ先

県動物指導センター
TEL 0296-72-1200
http://business2.plala.or.jp/hadoshi

茨城子ども

救急電話相談

お子さんが急な病気で心配なとき、ご相談ください。経験豊富な看護師がアドバイスします。

○プッシュ回線の固定電話
「#8000」

※茨城県内どこからでもつながります。

○プッシュ回線以外の固定電話、携帯電話、公衆電話

9月の納税

◆ 豊田新利根土地改良 2期 ◆

徴収日は9月30日です

「TEL 029-254-9900」

◆相談時間 月～金曜日

午後6時30分～

午後10時30分

(土・日・祝日及び年末年始は除く)

他県ナンバー自動車の

変更登録について

自動車税は、自動車の主な定置場所在の都道府県に納税していただくことになっております。あなたの自動車が茨城県以外のナンバーのまま本県で使用されている場合には、速やかにナンバーの登録替えをし、本県に納税されますようお願いいたします。

住所または使用の本拠地を変更したときは、道路運送車両法の定めにより15日以内に変更登録をしなければならぬことになっております。

◆問合せ先

○変更登録について

茨城運輸支局土浦自動車検査登録事務所
TEL 029-842-8111

○自動車税について

茨城県江戸崎県税事務所
課税第二課
TEL 029-892-6112

表筑波スカイラインの

無料開放のお知らせ

水郷筑波国定公園内の風返峠から不動峠を経て朝日峠に至る延長10kmの有料道路「表筑波スカイライン」が、本年9月30日に料金徴収期間である30年の満期を迎え、平成16年10月1日(金)から無料開放となります。

回数券をお持ちの方は、払戻が受けられます。

◆払戻期間

平成16年9月1日

12月28日まで

◆受付時間

午前8時30分～午後5時

※日・祭日を除く

◆払戻方法

「回数券払戻申請書」に必要事項を記入のうえ、下記までご請求ください。

県道路公社

TEL 029-301-1131

表筑波スカイライン料金所
TEL 0299-42-3231

◆有料道路に関する問合せ先
県道路建設課
TEL 029-301-4438

催し

秋の行政相談週間

10月18日(月)～24日(日)の1週間は秋の行政相談週間です。

町では、行政相談委員が次のとおり行政相談所を心配ごと相談と併せて開設します。相談は無料・秘密厳守です。で、お気軽にご利用ください。

◆日時 10月15日(金)

午前10時～午後3時

◆場所 公民館第2分館

◆問合せ先 役場総務課

TEL 84-2111(内線122)

※なお、行政相談員はいつでも相談を受付けています。

―河内町担当行政相談委員―

氏名 山田 一郎

住所 下加納1553

TEL 86-3155

善意の(ご)寄附 (敬称略)

中金江津子ども会

15・775円

上金江津地区盆踊り大会

収益金

金魚すくい 6・550円

ヨーヨーつり 4・052円

千葉県中央ヤクルト販売株

車椅子1台

トキワ花木園芸センター

車椅子1台

社会福祉協議会へ

戸籍の窓
2004年8月届出分 (敬称略)

おめでた

赤ちゃん あ明 けん健 いく育 なほ まつ ま菜	保護者 安藤良人 大塚正己 久松治己 北島富男 古手達達 吉野剛	地区 上竜上 組丁金 歩江津 野野場 堤
--	--	-------------------------------------

おぐやみ

氏名	年齢	地区
大木 すみ	87	川布川
山口 よね	82	戸間
仲谷 辰夫	52	幸谷
木村 民男	58	羽子騎
仲代 代勇	58	愛宕納
青野 中み	71	下加
田山 山良	86	中藤
石村 健吾	87	下町
河若 松幹	47	下金江津

*掲載を希望されない場合は、届出の際に申し出てください。

成田線(我孫子〜成田間) 各駅停車スタンプラリーの旅

河内町を含む成田線沿線の11市町村をはじめ、商工会議所・商工会及び各観光協会等では、「環境にやさしい鉄道を利用して、成田線を元気にしよう!」をキャッチフレーズに成田線沿線の魅力を多くの人々に知っていただくため、各駅停車スタンプラリーを実施します。

◆応募方法

我孫子駅〜成田駅間(東我孫子駅を除く)の9駅のうち、4駅のスタンプを指定の応募

はがきに押ししてください。

◆応募期間

平成16年10月8日(金)

〜11月7日(日)

※11月8日(月)消印有効

◆賞品

抽選で55名様に成田線沿線の市町村の特産品をプレゼントします。

発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

◆問合せ先

印西市役所総務部企画政策課内「成田線(我孫子〜成田間)各駅停車スタンプラリーの旅」事務局
TEL 0476-4215111

障害者就職面接会開催

厚生労働省・茨城労働局・各公共職業安定所・茨城県では障害者の就職促進、就職機

会の拡大を図ることを目的に障害者を対象とした就職面接会を開催します。

◆開催日 10月7日(木)

◆時間 午後1時〜午後3時30分

◆場所 土浦京成ホテル

※参加を希望される事業主又は求職者の方はハローワーク竜ヶ崎・障害者就職面接会担当までご連絡ください。

◆問合せ先

ハローワーク竜ヶ崎
TEL 60-2727

募集

平成17年度稲敷地方広域市町村圏事務組合消防吏員募集

◆職種・採用予定人員・勤務場所

職種：消防吏員

採用予定人員：若干名

勤務場所：消防本部・管内消防署・出張所

◆受験資格

①大学卒業及び平成17年3月卒業見込みで、昭和53年4月2日から昭和58年4月1日までに生まれた方

②短大卒業及び平成17年3月卒業見込みで、昭和55年4月2日から昭和60年4月1日までに生まれた方

③高校卒業及び平成17年3月卒業見込みで、昭和57年4月2日から昭和62年4月1日までに生まれた方

※これらに該当する方でも日本国籍を有しない方や地方公務員法第16条(欠格事項)に該当する方は受験できません。

◆試験の日時及び場所

11月14日(日)

龍ヶ崎市役所2階会議室

◆受付期間

10月15日〜11月4日

※祝祭日を除く

◆採用予定日

平成17年4月1日

※受験手続、試験方法等に関する詳しくは左記へお問い合わせください。

◆問合せ先

稲敷地方広域市町村圏事務組合消防本部総務課

TEL 64-3743代

◆ 定例相談 ◆

心配ごと相談

日時 10月1日(金) 午前10時～正午
10月15日(金) 午前10時～午後3時
場所 公民館第2分館
問合せ先 河内町社会福祉協議会
☎84-2830

教育相談

日時 月・水・木曜日 午後1時～5時
場所 公民館第3分館(西共同利用施設)
問合せ先 ☎84-4888 (FAX兼用)

交通事故相談

日時 月～金曜日
午前9時～正午 午後1時～4時
弁護士相談 水曜日
午後1時～4時(要予約)
場所 土浦合同庁舎 本庁舎3F
問合せ先 県南地方交通事故相談所
☎029-823-1123

成田空港に関する相談

日時 月～金曜日 午前9時～午後5時
場所 榎ふるさとかわち事務所2階
(河内町長竿188)
問合せ先 茨城地域相談センター
☎84-5017

◆ 町の人口と世帯 ◆

平成16年9月1日現在

人口 11,486人(-19)
男 5,689人(-9)
女 5,797人(-10)
世帯数 3,369戸(-1)

◆ 交通事故発生状況 ◆

町内の交通事故8月発生状況

(前月比) (累計)

発生件数 23件(-1) (162)
死者数 0人(±0) (1)
負傷者数 11人(+5) (75)

竜ヶ崎警察署調べ

TELガイド

役場	☎84-2111	学校教育課	☎84-3322
	FAX84-4357	生涯学習課(中央公民館)	☎84-2843
水道課	☎84-2361	給食センター	☎84-2845
つつみ会館	☎86-3740	福祉センター	☎84-3699
保健センター	☎84-4486	防災かわち(音声案内)	☎84-2212

休日診療当番医

- 10月 -

	江戸崎地区	龍ヶ崎地区	
		内科	外科
3日	坂本耳鼻咽喉科医院 ☎029-892-2627	根本医院 ☎62-3155	秋本脳神経外科 ☎64-3311
10日	角崎クリニック ☎0297-87-6030	村井医院 ☎62-3380	菊地整形外科 ☎64-6111
11日	和田医院 ☎029-894-2412	若松内科胃腸科医院 ☎64-0533	斎藤クリニック ☎64-3527
17日	矢野整形外科医院 ☎029-892-2127	うちだ医院 ☎64-8821	みやね外科整形外科クリニック ☎62-3761
24日	津村医院 ☎029-894-2719	野上小児科医院 ☎65-3375	飯野クリニック ☎60-2323
31日	江戸崎眼科 ☎029-892-0262	鴻巣クリニック ☎61-0151	牛尾病院 ☎66-6111

※診療を受ける際は、必ず電話で確かめてください。

10月のごみ収集日

資源回収日				燃えないごみ収集日			
A地区	5・19	C地区	12・26	A地区	9	C地区	23
B地区	14・28	D地区	7・21	B地区			
燃えるごみ収集日				粗大ごみの予約収集日			
全地区	毎週月・水・金曜日			10月中の予約→11月6日			

ごみ等の投棄禁止

ごみを投棄すると、処罰されます

『みんなの町、みんなできれいに』

◆ 問合せ先 ◆ 都市計画課 環境衛生係 ☎内線155・156

広報

かわち

平成16年9月15日発行

編集・発行 河内町役場秘書広聴課
〒300-1392 茨城県稲敷郡河内町源清田1183
ホームページアドレス <http://www.town.kawachi.ibaraki.jp/>